

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年12月11日号

目次

◎2001～2005年、全国の農産物輸出額は11.6%増加

【経済日報 2006年11月30日】

◎農民1人あたり所得、今年は6%増加の見込み

【経済日報 2006年11月30日】

◎中国とアイスランド、自由貿易協定の協議開始が決定

【国際商報 2006年12月05日】

◎2001～2005年、全国の農産物輸出額は11.6%増加

【経済日報 2006年11月30日】

商務部の易小準・副部長は11月29日、2006年農産物輸出状況発表会にて、第10次5ヵ年計画(2001～2005年)期間中、農産物輸出額増加率は平均11.6%に達し、世界農産物貿易額における中国の割合も2001年の3%から2005年は3.4%に拡大したことを明らかにした。また、2006年1～10月の全国農産物輸出額は245億6千万ドル(12.7%増)を記録。通年の輸出額は300億ドルを突破する見込み。農産物輸出増は農村部での就業機会拡大、農民所得増を促している。近年、商務部はこれまでに以下の分野で農産物輸出増を図っている。

1. 商務部は今年「農産物輸出第11次5ヵ年発展計画(2006～2010年)」を策定、2010年までに農産物輸出額380億ドル到達を目指している。
 2. 商務部、財政部、農業部らは2005年、国务院(内閣に相当)に農産物輸出促進を提案。
 3. 商務部は2006年、中国輸出信用保険公司(中国信保)と「輸出信用保険活用による農産物輸出促進に関する通知」を連名で発表。輸出信用保険整備による輸出増に力を入れており、中国信保は2005年、総額15億ドル相当の農産物輸出を支援した。
-

◎農民1人あたり所得、今年は6%増加の見込み

【経済日報 2006年11月30日】

国家発展改革委員会は11月29日、今年の全国農民1人あたりの所得は前年より300元以上増加、実質増加率は6%を記録する見通しであることを明らかにした。今年は穀物、綿花生産量が増加、これらの価格も上昇しており、農産物生産による収入は前年より増加する見込み。また1～9月の1人あたりの現金所得のうち出稼ぎなど給与によるものが前年同期より19.6%も増加、増加率は前年同期を3.5ポイント上回った。このほか中央政府は2006年、「三農（農村、農業、農民）」支援に3397億元（前年比422億元増）を投下、穀物生産補助、生産財購買補助など計188億7千萬元を支給したほか、生産財購買による支出増加部分の直接補助として125億元を拠出している。2005年の農民1人あたり所得は3255元、前年と比較した実質増加率は6.2%だった。

◎中国とアイスランド、自由貿易協定の協議開始が決定

【国際商報 2006年12月05日】

中国とアイスランドの自由貿易協定に関する協議開始が4日、北京市で正式に決まった。中国の于広洲・副部長、アイスランドのスベリドットティル外相が協議開始の書類に署名した。両国は平等・互惠・実務的協力という原則の下、協議を進めていく。初の本格協議は2007年1～3月期、北京市で行われる予定。欧州先進国で中国と自由貿易協定協議を行うのはアイスランドが初めて。両国の貿易・経済関係は近年順調に発展している。

于副部長は、「中国はアイスランドとの経済・貿易関係を重視、同国が西側諸国で率先して中国の市場経済国としての地位を認めたことを高く評価している」と語った。1～10月、両国間貿易額は約1億ドルを記録。両国は漁業、地熱、建築工事請負、造船、アルミ、情報通信などの分野での協力の潜在力が大きいと評価しており、将来の自由貿易区建設によって両国貿易・投資・協力規模がより拡大するものと期待されている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。